

週間漁海況情報—第29号

平成22年08月02日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

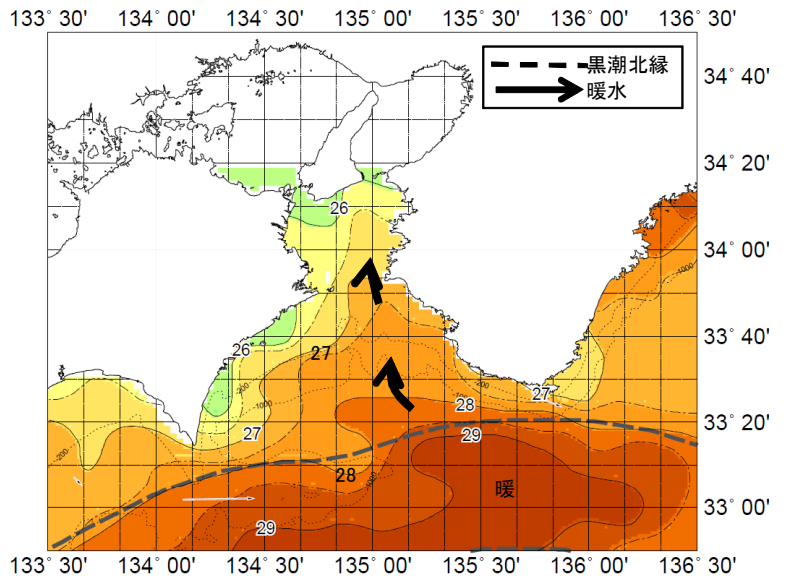
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H22.8.2）を示した。

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖でともに接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でかなり離岸、足摺岬で接岸している。

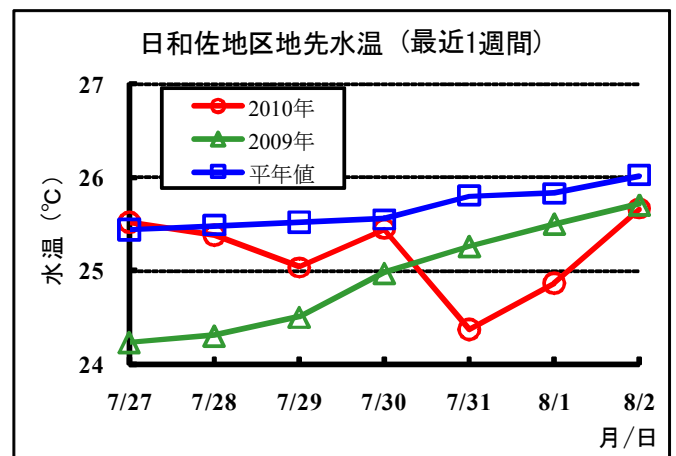
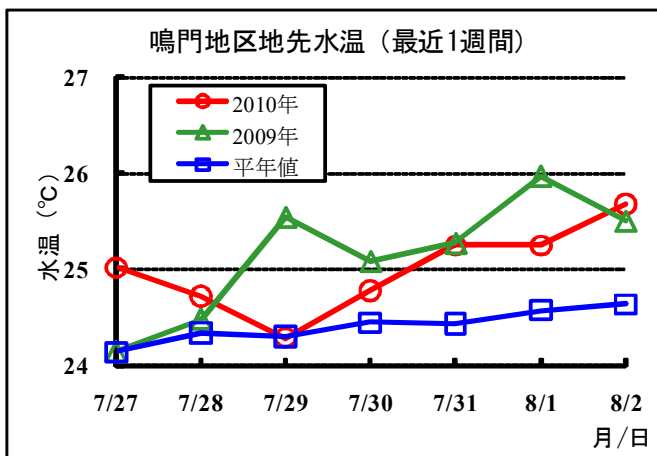
黒潮本流の表面水温は、27～29℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘が25℃台、紀伊水道が25～26℃台、海部沿岸が25～27℃台である。



紀伊水道外域の東部では、暖水波及があり、その一部は紀伊水道内部に進入している。海部沿岸でも、現在、暖水波及の影響を受けつつあり、先週と比較すると内海系水に覆われた箇所は減少している。

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の24.3～25.7℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の24.4～25.7℃、牟岐地区は「かなり低め」～「高め」の22.7～27.7℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み : ±0.49 以下, やや高め (やや低め) : ±0.50 ~ 1.49, 高め (低め) : ±1.50 ~ 2.49, かなり高め (かなり低め) : ±2.50 以上

2. 漁況の経過

小型定置網：海部沿岸で、ウルメイワシが0.4トン(1日1隻当たり6kg)、小小主体にカマス類が0.8トン(同13kg)、小主体にマアジが1.0トン(同17kg)、マサバが5.7トン(同96kg)、マルソウダが1.0トン(同16kg)水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、マルソウダが0.3トン(同1kg)、ヨコワが0.2トン(同0kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 07月26日～08月01日

県下4漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	ウルメイワシ	60	379	6	
		カマス類	60	770	13	小小主体
		マアジ	60	1,000	17	小主体
		マサバ	60	5,740	96	
		マルソウダ	60	954	16	
釣り		マルソウダ	441	304	1	
		ヨコワ	441	198	0	

週間予報：黒潮は室戸岬沖と潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや高め」の25℃台後半～26℃台前半、日和佐地先は「平年並み」の25℃台後半～26℃台で推移する見込み。

クラゲ情報：漁業者等の情報によると、播磨灘～紀伊水道でミズクラゲが出現している。